

『令和7年度 知的財産支援メニュー説明会を開催します
～ 道内の13支援機関の施策を一挙紹介 ～』



INPIT加速的支援 施策紹介

オーダーメイド型専門家派遣を通じ企業の事業成長を支援

令和7年7月

独立行政法人 工業所有権情報・研修館
知財活用支援センター 加速的支援室調整担当



【問合せ先】

TEL: (北海道地域統括) 070-1468-5875

E-mail: nakayama-shinji@inpit.go.jp

INPIT（インピット） 独立行政法人 工業所有権情報・研修館

National Center for Industrial Property Information and Training

- 経済産業省・特許庁所管の
独立行政法人
- 特許庁と連携し、
知的財産（特許・意匠・商標等）
に関する総合支援を行う機関



INPIT（工業所有権情報・研修館）について



◎本部事務所

住所：〒105-6008

港区虎ノ門四丁目3番1号 城山トラストタワー8階

部署：総務部、研修部、知財人材部、知財情報基盤センター、情報システム部、知財情報部、
知財活用支援センター、地域支援部、知財戦略部

設置窓口等：○海外展開支援窓口 ○営業秘密支援窓口

○アカデミア知財支援窓口 ○スタートアップ知財支援窓口

○特許庁分室

住所：〒100-0013

千代田区霞が関三丁目4番3号 特許庁庁舎1、2階

部署：公報閲覧・相談部

設置窓口等：公報閲覧室、産業財産権相談窓口

○虎の門分室

住所：〒100-0013

千代田区霞が関三丁目8番1号 虎ノ門ダイビルイースト2階、7階

設置窓口等：一般研修教室（2階）、VDT研修教室（7階）

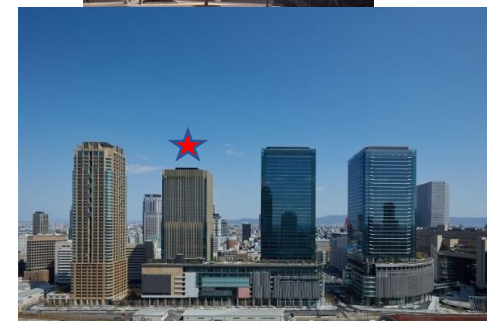
○近畿統括本部（INPIT-KANSAI）

住所：〒530-0011

大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーC9階

部署：事業推進部

設置窓口等：関西知財戦略支援専門窓口、高度検索用端末利用室、
出張面接室、オンライン面接室



INPIT（工業所有権情報・研修館）について



INPITは、基本理念である「知的財産の創造・保護・活用を通じて産業社会の発展に貢献」の下に、ブランドメッセージ、MVVを定め、役職員が一体となってサービスの向上に取り組んでいます。

ミッション（経営理念・存在意義）

ビジョン（目指すべき未来の姿）

バリュー（共有する価値・行動規範）



●「知」を芽吹かせ、共に価値にする

知という「財産」（アイデア・技術・デザイン・ブランドなど）を見つけ、共に考え、行動することで、経済的・社会的な価値に繋がります。



●知財を身近に、社会を豊かに

生活や経営のそばに知財があり、人々が今よりもっと面白く、賢く、豊かに暮らせる社会を目指します。



●知財の輪をつなぐ要に

知財経営支援の中核機関として、情報を届け、多様な人材を育て、結びつけ、ネットワークを築きます。



●公正、誠実、情熱

独立行政法人として、公正な立場で、誠実に、情熱を持って業務に取り組めます。



●挑戦と成長

現状に満足せず、新たな課題解決にチャレンジし、成功からも失敗からも学び、職員及び組織全体が日々成長し続けます。

●チームで生み出す成果と信頼

部署間での連携や他の支援機関との連携をスピード感をもって進め、最適なサービスの提供により、信頼される存在となります。

< INPIT事業の四本柱 >

1. 知財のエコシステムを支える

知財課題発掘

- ・知財総合支援窓口の設置
- ・知財戦略エキスパートの設置
- ・地域の関係機関と連携した支援
- ・伴走支援と知財経営成功事例の創出
- ・大学等の研究開発成果の社会実装に向けた知財戦略策定等の支援

2. 産業財産権情報インフラの整備 とその利活用

- ・特許情報プラットフォーム（J-PlatPat）、
画像意匠公報検索支援ツール（Graphic
Image Park）、
新興国等知財情報データバンク、
開放特許情報データベースの運用
- ・IPランドスケープ事業
- ・フォーラムの開催

3. 知財エコシステムを支える人材 育成

- ・知財人材育成教材（IP ePlat）
- ・ケーススタディ教材の開発・普及事業
- ・パテントコンテスト・デザインパテントコンテスト
の実施
- ・知財学習支援
- ・セミナーの開催

4. 世界最速・最高品質審査を始め とする特許行政への貢献

- ・特許庁職員に対する研修
- ・調査業務実施者の育成研修
- ・審査・審判関係資料の収集、閲覧
サービスの提供及び電子データの
整備等

INPIT知財総合支援窓口について



◆INPIT知財総合支援窓口

- ・中小企業等の経営課題の解決に向けて「知的財産」の側面から支援する支援窓口。
- ・47都道府県に設置。

Point1 窓口に在籍する経験豊富な企業OB等の支援担当者が、お話を通じて「経営」と「知的財産」の課題を把握し、知的財産の基本的な説明から事業・知財戦略の策定助言まで、相談内容に応じて幅広くアドバイスします！**すべて無料**です。

Point2 より専門的な内容の相談は、弁理士・弁護士・ブランド専門家・デザイナーといった**専門家と連携して支援**します！

Point3 関係支援機関とも**連携し**、多方面からきめ細かな支援を行います！

効率的・網羅的な支援を提供します



1. 加速的支援とは



★「自社の独自の技術を生かして新商品開発に挑戦したい！」

★「これまで育ててきた自社のブランドをもっと世の中に広げていきたい！」

・・・そんな熱意ある企業のみなさまをINPITが支援する支援策です！

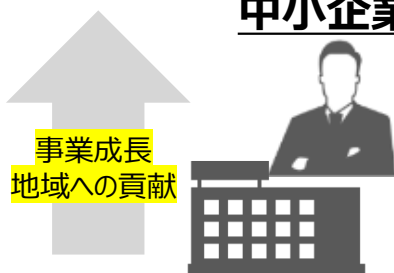
⇒INPITが提供する**専門家・集中支援プログラム**。企業の課題を分析した**支援計画書を作成、オーダーメイド型の支援**を通じて、企業の「成長ストーリー」の実現を目指します。

【★ポイント★】

- ① 独自性のあるアイデア・技術・サービス・地域資源などの知的資産を活用し、 **事業の成長を加速させたい**
- ② 自社の知的資産を活用し、事業成長に対する方向性やビジョンを明確化することで、 **具体的な戦略策定・実行**へとつなげたい
- ③ 1年から1年半にわたる専門家によるオーダーメイド型集中型伴支援支援を通じて、 **経営環境、社内環境、組織的体制の整備**したい（年度またぎ可能！）

知的資産を活用した事業成長が見込まれる中小企業に対して、INPITから専門家チームを派遣、伴走支援を行うことで、支援先企業の**組織の能力（ケイパビリティ）を高め、事業成長**を実現

中小企業



- ✓ 市場ニーズに合わせた商品開発能力、サービス能力向上
- ✓ ブランド、PR力向上
- ✓ 顧客、パートナー、マーケティング等販売能力向上
- ✓ 法規制等ビジネス環境への対応、契約アドバイス …等

INPIT
加速的支援室



- ・課題に適した専門家チームを派遣
- ・約1年～1年半の集中型伴走支援
- ・知財総合支援窓口が継続的にフォロー



**専門家
チーム**



チームリーダー
(中小企業診断士/弁理士等)



各種専門
家



弁護士



デザイン
/ブランド
専門家



大企業
OB



知財総合支援
窓口担当者



[リンク](#)



支援対象

【①知的資産の保有状況】

独自性のあるアイデア・技術・サービス・地域資源など、**経営成長につながる知的資産**を保有している。

【②ビジョン・将来性】

経営者が知的資産を活用した**事業成長に対する方向性やビジョン**を有している。

【③経営者の人柄・関与】

経営者に**熱意・リーダーシップ**があり、支援を受けるに当たって**積極的に対応・行動**できる。

【④社内体制】

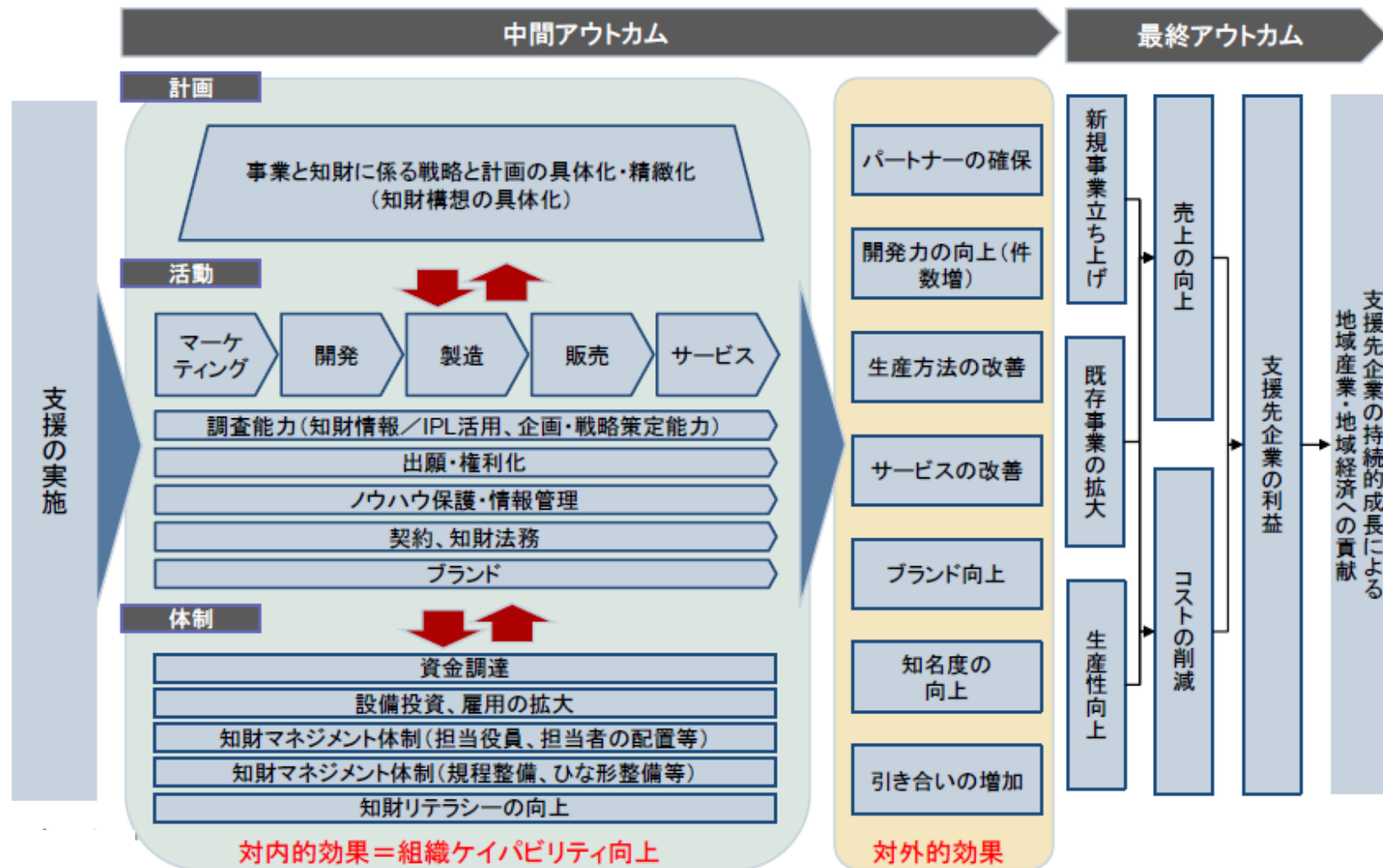
支援を受け入れる**社内環境、組織的体力**が望める。

【⑤安全性】

支援の実施にあたり、**重要な企業経営上のリスク**がない。

※チームリーダー及びメンバーの専門性は、案件に応じてケースバイケース

加速的支援では、経営者様の想いを実現するために必要と考えられる**組織の能力（ケイパビリティ）を高める**ことで、想い（事業成長）の実現に近づけていくことを狙っています。



知的資産を活用した事業成長が見込まれる中小企業に対して、INPITから専門家チームを派遣、伴走支援を行うことで、支援先企業の**組織の能力（ケイパビリティ）を高め、事業成長**を実現します。

【支援対象企業】 ～加速的支援対象企業選定基準より～

【①知的資産の保有状況】

独自性のあるアイデア・技術・サービス・地域資源など、**経営成長につながる知的資産**を保有している。

【②ビジョン・将来性】

経営者が知的資産を活用した**事業成長に対する方向性やビジョン**を有している。

【③経営者の人柄・関与】

経営者に**熱意・リーダーシップ**があり、支援を受けるに当たって**積極的に対応・行動**できる。

【④社内体制】

支援を受け入れる**社内環境、組織的体力**が望める。

【⑤安全性】

支援の実施にあたり、**重要な企業経営上のリスク**がない。

【①地域団体商標の保有状況】

地域団体商標を保有しているか出願中である。

【②ビジョン・将来性】

商標権利者（出願人）とその構成員が地域団体商標を活用した事業成長に対する方向性やビジョンを有している。

【③推進体制と熱意】

事務局が設置されており、支援チームとスムーズなやり取りできる体制が整っている。

商標権利者（出願人）、支援チームとの窓口となる実務的な推進役（商標権利者（出願人）を代表して支援を受ける者）に熱意・リーダーシップがあり、支援を受けることに対して積極的である。

【④商標権利者（出願人）組織内の体制】

支援を受け入れる社内環境、組織的体力が望める。

【⑤安全性】

支援の実施にあたり、重要な団体運営上のリスクがない。

【★補足★】

- ・特許庁・経産局、地方自治体等からの推薦団体
- ・自治体、地域産業支援団体（商工会議所、商工会含む）の推薦又は既に（過去含む）支援を受けている団体である。
- ・商標権利者に加えて、自治体、観光協会など関係者との連携体制が構築されている。

加速的支援開始までのステップと役割（一例）



支援企業



各県 窓口担当

INPIT機能強化マネージャー プログラムオフィサー／専門家

知財総合支援窓口による推薦

- 窓口から支援を受けており、知財を軸に事業成長を検討している企業

- 知財総合支援窓口の中で、加速的支援の候補企業様としてご支援に向けた検討に着手して、候補企業があれば事業責任者と相談の上、加速的支援候補フラグを立てる

- ご推薦を頂いた候補企業について、これまでの知財総合支援窓口を通じて実施させて頂いたご支援や資料等に基づく現況の整理

ヒアリングの設定

- ヒアリングには原則として経営者の方が対応。
- 事業や製品概要、その他参考資料がありましたら事前に準備。

- ヒアリングを行うINPIT加速的支援室強化マネージャー、プログラムオフィサー／専門家との日程調整

- ヒアリングの準備をさせていただきます（事前情報の分析等）

ヒアリングの実施 （1～2回程度）

- 経営者様の想い
- 支援に対するご要望

- 企業にとって身近なアドバイザーとして、知財活動の状況や知財についての課題等、必要に応じて経営者様のご説明を補足するなど、支援チームの一人として参加します

- 経営者様の想いを共有した上、実現していくための課題を整理させて頂くために必要なことを確認

支援計画のご提案

- 支援チームがご提案する、支援のゴールと支援内容を確認
- その際、ご支援と並行して自社が取り組むべき内容もご確認

- 支援チームの一員として企業にとってご満足いただける、不安のない支援計画となっていることを一緒に考えます

- 支援計画を確認し、INPITへ提出・確定させ、加速的支援承認後に支援開始を指示します。

知財総合支援窓口の更なる支援機能強化を図るべく、窓口機能強化事務局・POと連携しながら、加速的支援の全体マネジメントを行います。

具体的には

- ・ 加速的支援候補の掘り起こしのための窓口との連携
 - ・ 加速的支援候補企業の選定
 - ・ 加速的支援候補企業へのヒアリング、支援計画へのアドバイス
 - ・ 加速的支援体制の構築(リーダー・専門家の決定・変更)
 - ・ 採択済み加速的支援案件への支援同行やアドバイス、進捗管理、実績の評価分析
- 加速的支援オプションメニュー、支援期間の延長・中止等の申請内容確認 など



尾崎 大介

(おざき だいすけ)

弁理士資格保持

- ・ JFEスチール(株)
知的財産部主任部員
(弁理士チーム チームリーダー)
- ・ JFEテクノロジー(株)
知的財産事業部知財調査部主査



小嶋 豊誠

(こじま とよせい)

弁理士

- ・ パナソニック (株)
AVC知財チーム 参事
- ・ 静岡大学
イノベーション社会連携推進機構
産学連携推進部門
部門長・特任教授・コーディネーター



藤井 徹

(ふじい とおる)

知的財産管理技能士、知的財産アナリスト

- ・ サントリー (株)
技術開発本部生産技術部 課長
- ・ サントリーホールディング (株)
知的財産部専任部長
- ・ 日本知的財産協会
人材育成委員会小委員長



眞野 豊司

(まの とよじ)

- ・ キヤノンITソリューションズ (株)
法務・知的財産部 課長
- ・ キヤノンマーケティング
ジャパン (株) 知的財産部 主管
- ・ 情報サービス産業協会
知財・法務委員会 委員

令和6年度、INPITではモニタリング定性指標1-7に基づき支援実績をHPで公表するだけに留めず、経営者の考え方の変化や、専門家チームとのやり取り、支援プロセス等を詳細に纏めたもの10社を選定し公表します。

【選定企業】

事業成長につながったと評価できる企業54社のうち10社

【体裁等】

インタビュー形式

参考：<https://chizai-portal.inpit.go.jp/supportcase/02.html>

【インタビュー内容】

- ①事業成長上の効果が認められた企業
- ②知財の戦略的活用は“稼ぐ力”の向上に貢献する
- ③専門家チームとのやり取り
- ④経営者の考え方の変化、腹落ちするまでのプロセス

【取材先企業】

- | | |
|-----------------|----------------------|
| ①株式会社浅沼醤油店（岩手） | ⑥株式会社伊藤（山口） |
| ②株式会社テクリコ（大阪） | ⑦株式会社マイクロサポート（静岡） |
| ③丸山繊維産業株式会社（奈良） | ⑧株式会社SUNAO製菓（宮崎） |
| ④株式会社リュウクス（沖縄） | ⑨有限会社丸高重量（新潟） |
| ⑤株式会社三友精機（東京） | ⑩株式会社ユームズ・フロンティア（三重） |



掲載場所：<https://chizai-portal.inpit.go.jp/supportcase/02.html>

加速的支援 支援事例動画作成・公表について（令和6年度実績）

加速的支援の広報動画を作成しました。

窓口職員及び各関係機関職員が本動画を見ることによって加速的支援のイメージを掴みやすくすることを目的としています。

1 本目：窓口を身近に感じていただくような、加速的支援をわかりやすく説明しているフランクな雰囲気

1.株式会社浅沼醤油店（岩手県）

支援テーマ「伝統技術を活かした新たなビジネスへの展開」

受けた支援：ビジネスモデル整理を通じた事業戦略の構築、ブランディングと顧客開拓（マーケティング）との方針策定、知財戦略の構築、販売促進・認知向上戦略の策定と実践、知財マネジメントの体制づくりと実践

https://chizai-portal.inpit.go.jp/supportcase/files/docs/iwate_asanumashoyu.pdf



2 本目：地域とのつながりを紹介するような動画

山川水産加工協同組合（指宿鯉節） **【地域団体商標】**

支援テーマ：指宿鯉節の知名度向上を通じて指宿市も更に有名に！

受けた支援：ブランディング強化、新商品開発及び知財化、体制構築

https://chizai-portal.inpit.go.jp/supportcase/files/docs/kagoshima_yamakawa.pdf



掲載先 <https://chizai-portal.inpit.go.jp/supportcase/03.html>

